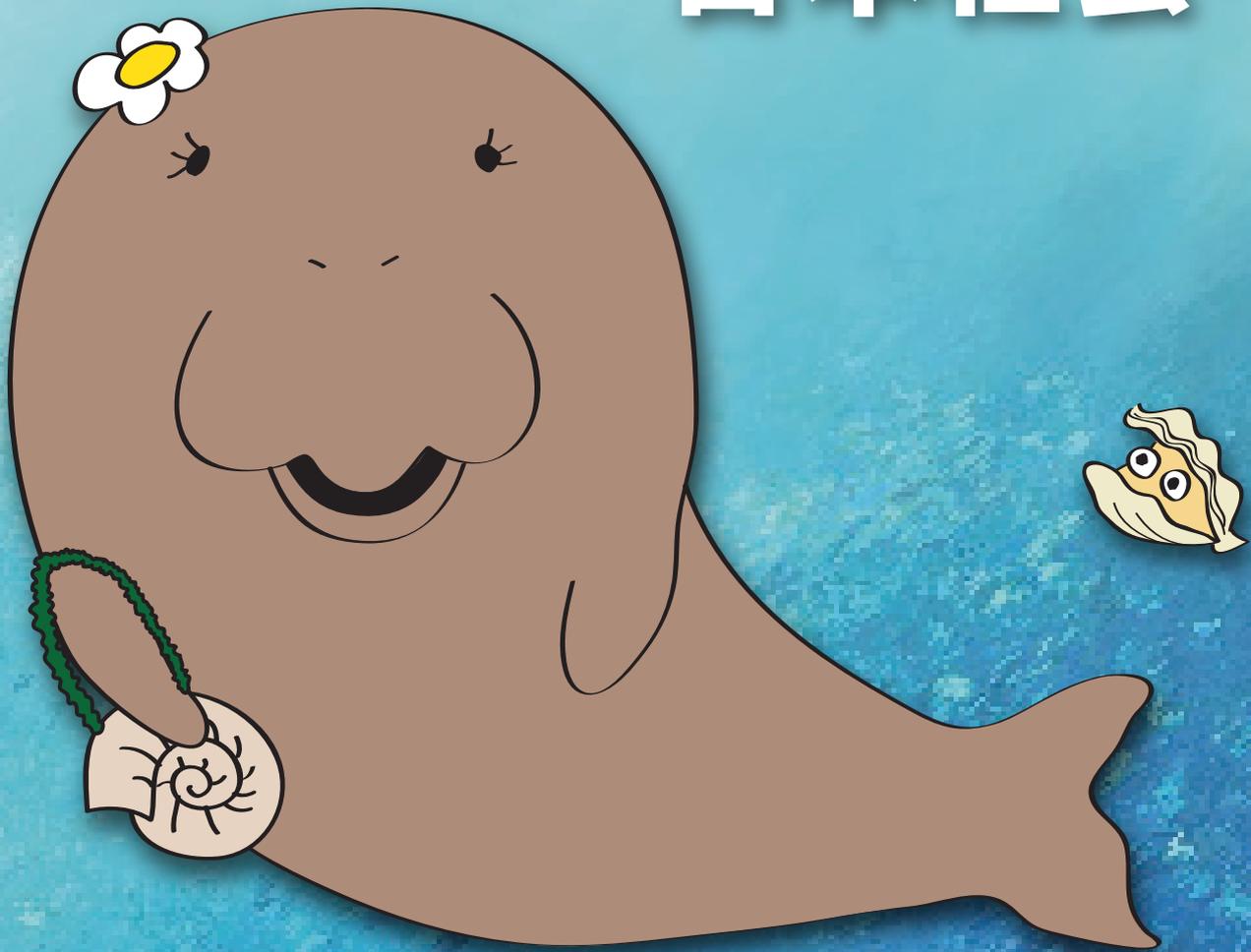


脱原発で 人と自然にやさしい 日本社会へ



サッポロカイギュウの
ぽろか
©Rinyu

820万年前、札幌の大半は海の中でした。当時、海牛も生息していました。
2003年に海牛の化石が豊平川河床から発掘され、『サッポロカイギュウ』と命名されました。

人類が誕生してから700万年、発展して社会を築いてきました。
我々は後世に地球を引き継いでいく責任を負っています。

2014年7月 りんゆう観光